

次期習志野市環境基本計画の策定について

■習志野市環境基本計画(令和8(2026)年度～令和15(2033)年度)

策定日:令和8年3月31日

公表日:令和8年3月31日(情報の取り扱いにご注意ください)

公表方法:広報紙・ホームページへの掲載、情報公開コーナーへの配架

計画の周知に関しては、本計画のほか、「習志野市環境基本計画(概要版)」を発行予定。

また、地球温暖化対策を各家庭や事業所で実践するため「習志野市地球温暖化対策ガイドライン(本編・家庭編・事業編)」を発行予定

策定プロセス:

【環境審議会】

令和6年10月17日 報告①次期習志野市環境基本計画策定について

(アンケート調査の実施について)

令和7年3月21日 報告①次期習志野市環境基本計画策定にかかる進捗について(骨子案)

令和7年7月28日 報告①次期習志野市環境基本計画策定について(計画案途中報告)

令和7年9月24日 諮問③次期習志野市環境基本計画策定について(計画案審議)

令和7年10月14日 答申

【環境に関する市民アンケート】

令和6年11月18日～12月2日 市民 3,000名、事業者783者を対象に実施

有効回答数は市民 1,196件、事業者 274件

【習志野市の将来の環境について考えるワークショップ】

令和7年5月10日 テーマ『習志野市のめざす環境像(キャッチフレーズ)を検討する』

参加者は市内大学生・高校生24名

【パブリックコメント】

令和7年11月1日～30日 (詳細は次のとおり)

■パブリックコメントの結果について

提出者:6名

意見件数:100件

意見抜粋:

- ・日本政府の計画は、国際機関の報告書と整合していないことを記載する必要がある。
- ・各施策に対し、数値目標をより多く設定し強力に推進すべき(例えば、「省エネルギー設備の導入100%」「令和●年までにオール電化を目指す」など)。
- ・ごみの分別徹底に向けて外国人対策チームを作って教育する。
- ・駅前から茜浜までの導線整備や谷津の葦切公園の有効な活用・利用を検討いただきたい。
- ・温暖化の原因はソーラーパネルではないか。火災への対応については知っているか。
- ・脱炭素社会の実現には水素の活用が一番ふさわしく、計画の中でも水素の活用を視野に入れるべき

パブリックコメントによる改正(2件):

p.55 公害苦情相談の対応件数 → 公害苦情発生件数

p.62 1時間降水量50mm以上の… → 県内における1時間降水量50mm以上の…